

申請書類の書き方

【注 意】

- ・黒または青のボールペン等消えにくい筆記用具を使って記入してください。
- ・申請の内容に虚偽があることが判明した場合は、入居が決まった後でも許可を取り消すことがあります。

1 申請書表面の書き方

＜記入例＞

＜劉 飛陽さんのプロフィール＞

修士課程在学中の私費留学生で、奥さんとお子さんの3人で暮らしています。

第2号様式(第8条第1項第1号)

単身室・家族室使用許可申請書

2026年8月25日

(申請先)

公益財団法人横浜市国際交流協会 理事長

横浜市国際学生会館の居室を利用したいので許可してください。

なお、使用が許可された場合は、条例その他の規定に違反しないこと及び使用許可期間が満了する日に許可を受けた宿泊室を原状に復し、退館することを誓約します。



自署: 劉 飛 陽

2026年8月1日
現在の年齢

氏名	氏	名	国籍	中国
	劉	飛 陽		
(フリガナ)	リュウ	ヒ ヨウ	性別	☒ 男 ☐ 女
生年月日	2000年7月25日(26歳)	☒ 私費 ☐ 国費 ☐ 外国政府派遣		
現住所	(郵便番号231-0017) (電話番号045-123-4567) 横浜市中区港町1-1-1-101			
結果通知書送付先	(郵便番号) (電話番号) 同 上 (E-mailアドレス O×▼@yish.or.jp)			
学校・学部・学科・課程等	(4月からの在籍校) 横浜国際大学 大学(大学院)・短期大学・専門学校 修士 学部(課程) 経済学 学科(研究科) 2年 (現在の在籍校) 横浜国際大学 大学(大学院)・短期大学・専門学校・学校 修士 学部(課程) 経済学 学科(研究科) 1年・研究生			
使用期間	2026年9月15日から2027年3月26日	居室種類	☐ 単身室 ☒ 家族室	

入居の可否についての結果通知書をEメールで、回答する予定です。メールアドレスは正確に記入して下さい。

「2026年9月15日から2027年3月26日」と記入

家族室申請者は、同居する家族についても記入

使用者の氏名	氏 名	性別	年齢	在留資格	申請者との関係
	劉 飛 陽	男	26	留学	本人
	陳 冬 梅	女	25	家族滞在	配偶者
	劉 莉 華	女	2	家族滞在	子
					子
					子

2 申請書裏面(「授業料」「収入・支出の状況(月額)」「現在の住居」)の書き方

収入・支出の状況

●2025年度(2025年4月から2026年3月)の収入・支出を見込み額を含め、1か月の平均の額を記入。

【注意】記入する金額は、100円未満は切り捨て。

授業料

●【A】は2025年度に実際に支払った1年間の学費を記入(学費には、授業料の他、施設費、実習費などを含まれますが、**入学金は含みません**)。学費の免除がある人は免除後の金額を記入。

●家族室の申請者で、配偶者が「留学」の人は、配偶者の授業料を合計した金額を【A】に記入。

授業料	年支払額【A】 332,000円	[授業料免除 ☒ なし ☐ 全部 ☐ 一部]		
	(【A】の金額 ÷ 12ヶ月 ÷ 27,600円【B】(授業料の月額))			
収入・支出の状況(月額)	収入		支出	
	奨学金	70,000円	家賃(本人負担額)	
	奨学金名[私費外国人留学生等学習奨励費]		55,000円	
	仕送り	0円	授業料(【B】の金額)	27,600円
	アルバイト収入	60,000円	食費	26,000円
	同居人・保証人等の援助	15,000円	光熱水費	7,000円
	その他の収入	10,000円	交通費	8,000円
			その他の支出	31,400円
	合 計	155,000円	合 計	155,000円
現在の住居	☒ 民間アパート・マンション ☐ 公的宿舎・大学寮 ☐ その他の寮		入居	2025年
	☐ 親戚等と同居・ホームステイ ☐ その他()入居		期限	8月まで
	2室 6/4.5 (専)・㎡			
	台所(専用)共同・なし) 風呂・シャワー(専用)共同・なし)			
トイレ(専用)共同)				
申請回数	☒ 初めて ☒ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4回目以上			

【B】授業料の月額の金額を記入

交通費

●通学に要する交通費(配偶者に通学に要する交通費があれば、その金額も加える)

収入合計と支出合計

●収入と支出の合計は同じ金額となる

その他の収入 ●預貯金等のとりくずし

アルバイト収入／同居人等の援助

●家族室申請者で同居の配偶者にアルバイト収入等があれば、合計金額をを記入

奨学金 ●申請時点で受けている奨学金の金額と名称

3 「推薦書(第3号様式)」に関する注意事項

●ゼミやクラスの担当教員、留学生担当教職員等自分の学校での生活をよく知っている人に記入してもらい、その上で学長(または学部長、教務部長、校長など)の公印を受けてください。公印のないものは無効です。

4 「入居に関するアンケート」に関する注意事項

- 留学生は(留学生用)、レジデントアシスタントは(RA用)に記入して提出してください。
- 別紙国際交流事業の紹介(「国際交流事業の様子」「市内小中学校への出前授業」「横浜市の事業への協力事例」)をご覧ください。ここで紹介されているような事業に協力していただくこととなりますので参考にしてください。

5 「在留カード」「学生証」のコピーに関する注意事項

- 留学生のみ提出してください。
- 在留カードと学生証の両面をコピーして所定の用紙にはって提出してください